

すずしろ

～開拓・発展・完成～

9月 第5号
令和元年 9月 6日
開進第四中学校だより
校長 児島 泰彦

約 40 日間の夏季休業が終わり、二学期がスタートしました。夏季休業中は、体調を維持し、規則正しい生活を送ることができたでしょうか。二学期もいろいろな行事があります。それぞれに個々の目標を立て、充実した学校生活を送りましょう。

【臨海学校を終えて】(担当：1年学年主任 仲田 英司)

7月21日から7月24日まで、今年度も静岡県下田市にて、臨海学校を実施しました。臨海学校中は天候にも恵まれ、当日までに全員が所属する各係で準備してきたものを、十分に生かした生活を送ることができたようでした。

残念ながら、新たな問題点も見えて、指導を受けることもありました。臨海学校も後半になると、一人一人が集団生活の一員だという自覚を高くもって生活しないと、何ごとにおいても成功しないことに気付く生徒も多く、収穫の多い臨海学校になりました。

2学期は、すべて初めてで真新しい1学期とは違い、これまでの取り組みが2学期の生活に生きてきます。1学期の反省点や改善点を見直して、規則正しい学校生活を送りましょう。



【夏の合宿（林間学校）】（担当：バレーボール部顧問 辻 敦子）



夏の合宿（林間学校）でベルデ武石少年自然の家に、野球部、バスケットボール部、バレーボール部の3つの部活動で行って来ました。夏の部活動の合宿は、3つの部活とも、これから一年間新しいチームで活動するための、基礎を作る場であると考えていたと思います。8月1日の朝は、どの部活の選手も、目を輝かせて、合宿に対する意気込みを見ることができました。

バレーボール部では、2年生は「自分たちが頑張らないと」と高い意識をもって、1年生は「合宿ってどんな感じなんだろう」とドキドキしながら、3年生は「サポートに徹する」とちょっと気持ちに余裕をもって、合宿がスタートしました。

何事も基本が大切です。基本練習を中心に朝・昼・晩、バレー漬けの4日間を過ごしました。練習を重ねるにつれて、サーブが入るようになっていたり、スパイクが打てるようになっていたり、レシーブが上がるようになっていたり、少しずつできることが増えていきました。地味な基本練習ですが、その積み重ねがいつか実を結ぶことが少し分かり、バレーボールが楽しいとさらに感じる事ができたと思います。

合宿でしかできない大切なことがあります。それは、チームメイトと寝食をともにすることです。寝食をともにすることで、普段の学校生活では見られない仲間の姿を見ることができ、チームメイトの理解をさらに深めることができます。4日間で、仲間の理解をさらに深め、チームに貢献しようという意識が高まっていれば嬉しいです。

いよいよ、9月からどの部活動も、新チームでの秋季大会が始まります。合宿、そして夏の練習の成果を発揮し、応援してくれる、支えてくれる人たちを感動させるような試合ができること期待しています。

【全国大会・関東大会】(担当：上田 尊)

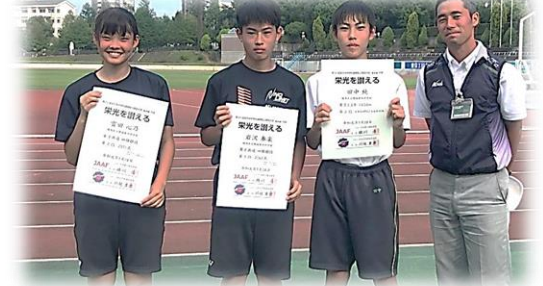
第47回関東中学校陸上競技大会		8月8日(木)、9日(金)		【千葉県総合スポーツセンター陸上競技場】	
共通男子	1500m 第3位	3年生男子	4分10秒91		
共通女子	四種競技 第12位	3年生女子	2371点	15秒73 / 1m41 / 8m77 / 27秒74	
第46回全日本中学校陸上競技選手権大会		8月21日(水)～24日(土)		【大阪 ヤンマースタジアム長居】	
共通男子	3000m予選	2組 第7位	3年生男子	9分56秒10	
共通男子	1500m予選	5組 第1位	3年生男子	4分02秒93	
共通男子	1500m決勝	第15位	3年生男子	4分12秒17	

3年生男子は、7月6日(土)に行われた総合体育大会で、午前中に1500m予選、午後に3000m予選で、全国大会の標準記録を突破しました。そして、7月27日、28日に行われた、全日本中学校通信陸上競技大会において、1500mでは大会新記録を更新して関東大会の東京都代表に選ばれました。

3年生女子も、全日本中学校通信陸上競技大会において、共通女子四種競技で自己ベストを更新して、2571点を獲得し、第2位となり関東大会の東京代表に選ばれました。残念ながら、全国大会標準記録まで59点届かず、出場は逃しましたが、この大会の全国ランキングは第17位と、全国レベルの力を発揮してくれました。

山梨で行われた関東大会では、気温37℃の強い日差しが照りつける中、コンディションに注意して試合に臨みました。3年生男子は、予選を勝ち上がり、決勝では積極的に勝負を仕掛け見事3位に入賞しました。3年生女子は、100mHでは強い向かい風の中、ベストに近い記録を出すことができました。都大会よりも点数を落としてしまいましたが、初めての大きな舞台をしっかりと楽しみ、走り、跳び、投げ、頑張りました。

大阪開催の全国大会も、猛暑の中行われました。3000mでは、残り1000mから積極的なレースを展開し、先頭をキープしていましたが、ラスト400mで先頭を譲りました。全国大会の厳しさを、悔しさとともに味わいました。23日に行われた1500m予選では、3000mのリベンジを誓い、終始先頭を譲らずにゴールをしました。1500m予選で出した、4分02秒93という記録は東京都歴代4位に相当し、マラソンで日本新記録を出した大迫傑選手(町田市立金井中学校)の記録を超える記録です。決勝でも積極的なレースを展開しましたが、4日間の疲れもあり、最後はベストを更新できませんでした。しかし、全国大会のたった15人しか出られない「決勝の舞台」を経験できたことは誇りです。素晴らしい結果を残せました。そして秋の連合陸上、支部対抗での活躍に向けて、努力を続けます。



3年生男子(左2番目)も男子共通四種競技で2065点を獲得し、都大会第7位に入賞しました。

【新学期の決意】（2年生代表男子）

僕は中学校生活2年目の1学期を過ごして、自分が少し成長することができたなと感じました。それは、積極性です。1年生の頃は授業や何か係を決める時、どちらかと言えば他人まかせになっていました。そんな中、少しずつ委員会や係決めに手を挙げ挑戦することができるようになりました。このような自分の経験を活かして、2学期も「積極性」「一歩踏み出す勇気」を大切にしていきたいと思います。

一方で課題もあります。それは日々の勉強との向き合い方です。2年生の初めの頃、先生方から「2年生は中だるみの時期」といったようなお話がありました。その話を聞いて、自分もそうならないように頑張ろうと思いました。ですが、授業や家庭学習をしていても集中しきれっていませんでした。2学期は、一つ一つの授業や家庭学習などに取り組む際、目的を考え、一つでも多くのことを吸収しようという向上心をもって、勉強できるようにしていきたいです。

また、2学期には上級学校訪問や職場体験、第2・3回定期テスト、さらに3学期にはスキー移動教室や合唱コンクールなどの様々な行事が控えています。その一つ一つの行事に全力で取り組み、全力で楽しめるように、まずは日々の生活から意識をかえていけるように頑張っていきたいと思います。

【夏の日のお出来事】

夏休み中に、近くにお住まいの看護師さんから、本校に1本の電話がありました。

その看護師さんが本校の近くを歩いていると、部活帰りの3年生の女子が、熱中症で気分が悪くなっていた方の首を、水で冷やしたり介抱していたそうです。その後、その方は救急車で搬送されましたが、初期段階での処置が良かったおかげで、命には別条ないとのことでした。今時の中学生が一人で、こんなことができるなんて素晴らしいと感動したので、お電話頂けたとのことでした。

部活動の大会等の結果

【サッカー部】

第36回青少年育成桜台地区第一地区合同中学生サッカー大会 **準優勝**

【バレーボール部】

第58回東京都中学校バレーボール選手権大会
1回戦 開四 2-1 狛江市立狛江一
2回戦 開四 0-2 品川区立大崎

【野球部】

第72回東京都中学校野球選手権大会 1回戦 開四 2-8 日野市立三沢
第51回青少年育成桜台地区委員会会長杯争奪少年野球大会 1回戦 開四 0-1 開二
令和元年度 練馬区秋季新人大会 1回戦 開四 2-3 早大学院

【バドミントン部】

第72回練馬区民体育大会バドミントン競技会
1部（3年生の部）
男子ダブルス **第3位** 3年男子ペア
女子シングル **第3位** 3年女子
女子ダブルス **第3位** 3年女子ペア
2部（1・2年生の部）
男子ダブルス **優勝** 2年男子ペア
男子ダブルス **ベスト8** 2年男子ペア
男子ダブルス **ベスト16** 2年男子ペア
女子シングル **ベスト8** 2年女子
女子ダブルス **ベスト16** 2年女子ペア

【吹奏楽部】

第59回東京都中学校吹奏楽コンクール B部門 **金賞**
『レハール 作曲・鈴木英史 編曲 喜歌劇「微笑みの国」セクション』